

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 292 (通算 622 回)

2015 年 5 月 20 日 (水)

ネクスト・ステージを拓く——

# ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化

高等教育活性化シリーズ 294 (通算 624 回)

2015 年 5 月 29 日 (金)

「どう教えるか」からの発想転換——

# 学生参画型 F D の具体方策と実際

ネクスト・ステージを拓く——

# ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化

～ これからの『F D』の話をしよう!! ～

- ※ これまでの F D ～ 萌芽・始動・発展期 / 米国・英国他, 国際比較からの検証 / 日本の F D 強みと弱み
- ※ F D 評価に使える測定理論 / 効果のある F D とは / 自大学の F D 効果測定方法を考える
- ※ これからの F D ～ 再定義 / 戦略的展開 / 担当者の組織化・雇用・育成 / アクション・プランの作成

● 講師 ●

佐藤 浩章 氏 / (国) 大阪大学 教育学習支援センター 副センター長  
全学教育推進機構 教育学習支援部門 准教授

2015 年 5 月 20 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

「どう教えるか」からの発想転換——

# 学生参画型 F D の具体方策と実際

～ アクティブラーニングだけではない / 学修支援をどうする～

- ※ 学生参画 F D の必要性 / 岡山, 北陸他各地の F D との連携 / 文科省はどう捉えているか
- ※ [帝京大] F D から E D へ / 学習者中心の授業への転換 / 学生の Employability を育てる
- ※ [桜美林大] 知識と技能の修得を目指したアクティブラーニング / オムニバス授業のよる F D 協働
- ※ 誰の, 何のための学生 F D 活動か / 実践事例を通して / 教育改善に結びつけるためのポイント

● 講師陣 ●

橋本 勝 氏 / (国) 富山大学 教育・学生支援機構 教授  
UD Mates (学生・市民参画型 F D / S D 推進組織) 教員代表

井上 史子 氏 / 帝京大学 高等教育開発センター 教授

齋藤 隆夫 氏 / 桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 BM 学類長 法学・政治学系 教授  
國學院大学 法学部 兼任講師

曾根 健吾 氏 / 横浜国立大学 大学教育総合センター 助手

2015 年 5 月 29 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会 高等教育情報センター

[ 参加要領 ]


日時： ■高等教育活性化シリーズ 292 ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化  
 2015年5月20日(水) 13:00~18:50  
 ■高等教育活性化シリーズ 294 学生参画型FDの具体方策と実際  
 2015年5月29日(金) 10:00~18:20

会場： 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
 (東京メロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)  
 ※パーティ会場：日本都市センターホテル1F 「レストラン アイリス」

参加費	ご一名(資料代を含む) 下段は高等教育同人(☆)	メディア参加 同(資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 292 ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化	38,000円(税・パーティ代込) 同人20,000円(税・パーティ代込)	36,000円(税、送料込) 同人18,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 294 学生参画型FDの具体方策と実際	43,000円(税・パーティ代込) 同人23,000円(税・パーティ代込)	41,000円(税、送料込) 同人21,000円(税、送料込)

- ※ メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。
  - ※ なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。
  - ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。
- 申込方法： 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。  
 ※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。
- 支払方法： 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660  
 口座名 (株)地域科学研究会  
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)  
 ☆ 高等教育計画経営研究所の同人とは [http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei\\_top.html](http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei_top.html)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2015年 月 日

(□に✓印を入れてください)

高等教育活性化シリーズ 292  
**ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化**  
 一般  同人  
 当日参加  メディア参加

高等教育活性化シリーズ 294  
**学生参画型FDの具体方策と実際**  
 当日参加  メディア参加

支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替  
 必要書類  請求書  見積書

勤務先 \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 } 14:15	<p>1. これまでの「FD」の話をしよう(その1)</p> <p>(1) 歴史からの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①萌芽期(1960年代～1970年代)</li> <li>②始動期(1980～1990年代半ば)</li> <li>③競争による急速な発展期(1990年代後半～2000年代半ば)</li> <li>④連携による持続的な発展期(2000年代後半～現在)</li> </ul> <p>(2) 国際比較からの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アメリカ</li> <li>②イギリス</li> <li>③その他の国</li> </ul> <p>(3) ディスカッション —日本のFDの強みと弱みとは—</p>
14:25 } 16:00	<p>2. これまでの「FD」の話をしよう(その2)</p> <p>(1) FDの評価に使える研修効果の測定理論とは</p> <p>(2) 先行研究にみるFDの検証 —効果のあるFDとは何か—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業参観と公開授業の効果とは</li> <li>②授業コンサルテーションの効果とは</li> <li>③ティーチング・ポートフォリオの効果とは</li> </ul> <p>(3) 個人・グループワーク —自大学のFDの効果を測定する方法を考えよう—</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:15 } 17:30	<p>3. これからの「FD」の話をしよう—今後10年のFDの展望—</p> <p>(1) FDの再定義と実践の拡張</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①狭義のFDから広義のFDへ(再論)</li> <li>②AD(Academic Development)の可能性</li> </ul> <p>(2) FDの戦略的展開アプローチ —3×3モデル—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①誰をクライアントにし、どのような教育活動に介入するのか</li> <li>②トップダウンか、ボトムアップか、それともミドルアップダウンか</li> <li>③ズームインか、ズームアウトか、それともミドルズームインアウトか</li> </ul> <p>(3) FD担当者の組織化・雇用・育成 —多元的主体論とプロフェSSIONAL化—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①誰がFDを担うのか、どのように役割分担をするのか</li> <li>②FD担当者をどのように雇用・育成・組織化するのか</li> </ul> <p>(4) ディスカッション —今後10年のFDで目指すこと、取り組むこと—</p>
17:40 } 18:00	<p>4. 振り返りとアクション・プランの作成</p>
18:10 } 18:50	<p>[懇談パーティ] これからのFDの話をしよう</p> <p style="text-align: center;">～ 佐藤 浩章氏を囲んで ～</p>

時間	講義項目
10:00 ) 11:30	<p>□ 学生参画型FDのこれまでとこれから                      (国) 富山大学 橋本 勝</p> <p>1. なぜ今、学生参画型FDが必要なのか                      (1) 原点としての『廣中レポート』 (2) 岡山型・立命型・帝京型                      (3) 橋本イズム・木野イズム・沖イズム</p> <p>2. フツのFDとの連携                      (1) 桃太郎フォーラムの蓄積 (2) 北陸での新展開                      (3) 他地域での目立った動き</p> <p>3. 文科省や国はこの動きをどう見ているか                      (1) 大学評価・学位授与機構も重視 (2) 認証評価項目に入ったり消えたり…                      (3) 文科省の大学調査項目に登場 (4) AP2件で橋本が基調報告 (質疑応答)</p>
11:40 ) 13:10	<p>□ [帝京大] エデュケーショナルディベロップメントの展開方策                      ~FDからEDへ / チェンジエージェントとしての学生 / Employabilityの育成~                      帝京大学 井上 史子                      帝京大学 学生</p> <p>1. FDからEDへ                      (1) 拡張するFD定義 (2) エデュケーショナルディベロップメントの展開                      (3) FDにおける組織的な知の創造とFD担当者の役割</p> <p>2. チェンジエージェントとしての学生                      (1) 学習者中心の授業への転換を促す                      (2) SCOT (Students Consulting on Teaching) プログラム                      (3) 学生がFDに関与する意義と効果</p> <p>3. 大学における学生のEmployabilityの育成                      (1) 欧州における2020年を目指した高等教育戦略                      (2) Employabilityの定義とフレームワーク                      (3) 正課と正課外学習を架橋するSCOTプログラム                      (4) 大学から仕事・社会への移行(トランジション)のために (質疑応答)</p>
14:10 ) 15:30	<p>□ [桜美林大] 市民教養としての法務授業とFD協働の実践                      ~スキルとしての法律の修得を目指した教育の場の設営~                      桜美林大学 齋藤 隆夫                      桜美林大学 学生</p> <p>1. 我が国の法学教育                      (1) 官吏のための法律学 (2) 高等教育の大衆化と法学教育                      (3) 市民法務の必要性</p> <p>2. 市民生活のスキルとしての法律                      (1) 知識と技能の双方の修得 (2) 身近なテーマで法律を使う                      (3) 日常を題材にした教材</p> <p>3. 実践的な法務教育とFD協働                      (1) 身近な題材でアクティブラーニング (2) オムニバス授業をとおしたFD協働                      (3) 実践をとおした法律知識習得への新たな展開 (質疑応答)</p>
15:40 ) 17:10	<p>□ 本当の教育改善に繋がる、学生とともにすすめるFD活動とは                      ~学生として学生FD活動を立ち上げ、推進した経験から~                      横浜国立大学 曾根 健吾                      学生</p> <p>1. 【はじめに】学生FD活動は、本当に必要なのか                      (1) 学生FD活動について、よく聞かれる声 (2) 何のための、学生FD活動か                      (3) 誰のための、学生FD活動か</p> <p>2. 【事例報告】東洋大学における、学生FD活動                      (1) 土壌はほぼなかった (2) 2年間は、困難の連続だった                      (3) 全学レベルの活動から、学部単位の活動へ</p> <p>3. 【まとめ】本当の教育改善に結びつけるための、重要なポイントとは                      (1) 学生の主体性をどうとらえるか (2) 教職員の支援、関与のあり方について考える                      (3) 学生スタッフに、専門性は必要なのか (質疑応答)</p>
17:20 ) 18:20	<p>[懇談パーティ] 学生参画型FDの明日を拓く                      ~各講師陣を囲んで~</p>